

2021年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・オー・データ機器
 代表者名 代表取締役社長 濱田 尚則
 (東証第一部・コード6916)
 問合せ先 社長室 室長 真田 秀樹
 (TEL 076-260-3377)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2021年8月10日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年6月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(2021年7月1日~2021年12月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	28,000	500	500	300	23.37
今回修正(B)	28,000	△300	△200	△150	△11.69
増減額(B-A)	0	△800	△700	△450	
増減率(%)	0.0	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2021年6月期第2四半期)	27,888	632	894	638	48.29

2022年6月期通期の連結業績予想数値の修正(2021年7月1日~2022年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	58,000	1,300	1,400	950	74.01
今回修正(B)	58,000	400	500	400	31.16
増減額(B-A)	0	△900	△900	△550	
増減率(%)	0.0	△69.2	△64.3	△57.9	
(ご参考)前期実績 (2021年6月期)	56,633	1,338	1,850	1,380	105.55

2. 修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は前回予想に変動ありませんが、利益面は電子部品の価格高騰による影響の他、第1四半期累計期間において、安定供給を優先した在庫の積み増しが当社会計上の棚卸資産評価損5億84百万円を招いたこと等から、営業利益および経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想値を下回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、比較的収益性の高い法人需要期の拡販に励む他、原価上昇に対する価格転嫁等を通じて下半期の利益回復に努めますが、第2四半期累計期間の業績予想を踏まえ、上記のとおり修正いたします。

なお、半導体を中心に供給不透明が続く部品がある一方、需給が緩み始めた電子部品もあり、引き続き調達面には注意を要しますが、第1四半期累計期間に確保した在庫については、各種電子部品の需給・価格面に大きな変動が生じぬ限り、今後年末及び年度末にかけての需要期に回転し、前連結会計年度末同水準とする予定です。

※上記の予想数値は本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上